

# にっぽん子育て応援団 2013 年度活動報告書

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標の設定

・2012 年 8 月、「子ども・子育て関連 3 法」が成立、公布された。早くて 2015 年 4 月にスタート本格実施する「子ども・子育て支援新制度」の実現へと力強い一歩を踏み出していくために、その理念や概要についての理解の促進と、国民的合意の形成などについて集中的に尽力していくことが求められている。2013 年度はこれまでの路線を踏襲しつつも、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標を引き続き年度活動方針の主軸に活動していく。

・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 思い切った財源投入の実現に向けた大きな政治の決断を
2. 当事者の声が反映されるしくみを

☆「3. 「未来への投資」を組み込んだ「真の」社会保障・税一体改革の実現を」については、2012 年 8 月に消費税法の改正および子ども・子育て関連 3 法の公布により、今後道筋が付けられたことから、一定の成果を上げたものとして、2013 年度の活動目標から取り下げることにした。

## 2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 479,973 (2014 年 3 月 31 日現在) (2013 年 3 月 31 日現在 330,492)

1) サイトにおける子ども・子育て応援サポーター宣言の個人及び企業・団体、自治体首長への呼びかけと、寄せられた宣言のサイトへのアップ。

	2014 年 3 月 31 日現在(2013 年 3 月 31 日現在)
個人サポーター宣言	4392 人 (4332 人)
企業・団体サポーター	31 社 (27 社)
NPO・市民団体サポーター	223 団体 (197 団体)
自治体首長サポーター登録	31 人 (35 人)

### 3 調査研究活動

- ・2012年度主要自治体の子育て分野におけるNPO/市民活動団体との連携に関する調査3回目となる今回は106自治体から回答を得た。(愛のキャンパ中央助成事業)  
6月1日の結成4周年フォーラムおよび7月19日のシンポジウムで資料として配布。

- ・「わがまちの子ども・子育て会議実践ガイドブック」の作成と販売(自主企画)(再掲)  
少しでも多くの自治体に子ども・子育て会議を設置してもらおうべくガイドブックを作成。  
地方版子ども・子育て会議をどのように進めていくのか――。  
先進自治体の事例や子育て当事者のニーズを踏まえた会議運営を進めるためのアイデアを紹介。  
国の子ども・子育て会議会長で白梅学園大学教授の無藤隆先生から推薦文を頂戴し、申し込み用紙などに使用した。

(3月31日現在、ガイドブック単独での販売692部、総販売数は849部。)

- ・「次世代育成支援に関するアンケート」  
7月の参議院選挙を前に、各政党に次世代育成支援に関するアンケートを実施。  
自由民主党、公明党、民主党、みんなの党、日本維新の会、社民党、共産党から回答を得る。  
公式サイトで公開。

### 4 情報提供・交流活動

- 結成4周年記念フォーラム「ついにスタート! わがまちの子ども・子育て会議  
～実現させよう! すべての子どもと子育て家庭に行き届くしくみ～」の開催(自団体事業)  
6月1日(土)13:30~16:30 女性就業支援センター 4階 ホール

開会挨拶: 吉田企画委員

基調講演 どこまで進んでるの? 子ども・子育て支援新制度と子ども・子育て会議  
長田浩志さん(内閣府参事官少子化対策担当)

パネルディスカッション「最初が肝心 先進自治体から学ぼう」

下呂市・遠野市・市川市の子育て支援担当職員と内閣府・長田さんとのパネルディスカッション

コーディネーター: 堀田団長、安藤哲也団長

勝手に表彰「素敵なネーミング大賞」授与式

プレゼンター: 岩田企画委員

パネルディスカッション 「各政党に聞く これからの子ども・子育て支援」

公明党、民主党、共産党、みんなの党、日本維新の会から国会議員・元国会議員がご登壇。

自由民主党の猪口議員は時間の都合で挨拶を撮影、動画で紹介。

コーディネーター: 樋口団長、勝間団長

閉会挨拶: 柳澤企画委員

NPO関係者及び行政職員ほか、135名が参加。最終的に資料は157部売り上げ。

「わがまちの子ども・子育て会議実践ガイドブック」のお披露目。

- 子育て応援フォーラム—ここから始まる子ども・子育て会議元年—

「どうつくる?! わが町らしい事業計画」の開催（自団体事業）

11月1日（金）14:00~19:00 女性就業支援センター 4階 ホール&第一・第二セミナー室

開会挨拶：吉田企画委員

パネルディスカッション「子ども・子育て会議 わが町ではこう進めている」

パネリスト 成澤廣修さん（文京区長）  
谷畑英吾さん（湖南市長）  
大豆生田啓友さん（玉川大学教育学部准教授）  
吉岡恵美さん（山口県内の子ども・子育て会議を応援するプロジェクト）  
長田浩志さん（内閣府参事官 子ども・子育て支援新制度担当）

コーディネーター 安藤哲也団長・勝間和代団長

鼎談「市民が考え 市民がつくる わが町らしさ」

長田浩志さん（内閣府参事官）、樋口恵子団長・堀田力団長による鼎談

フォローアップ勉強会

NPO市民活動団体チームと行政職員チームに分かれてグループワーク  
全体会でNPOチームのワーク発表と行政チームからの感想でシェアリング

行政担当者、NPO関係者、幼稚園・保育園関係者、労組関係者ほか135名が参加。

○子ども・子育て支援新制度勉強会 in いばらき（連合・愛のキャンパ中央助成事業）

2月13日（木）水戸市福祉ボランティア会館ミオス大研修室

子ども・子育て支援新制度に関する当事者向けおよび関係者向け勉強会二本立てを開催

（午前の部）

おしえて！ 子ども・子育て支援新制度

10:30~12:00

講師：加藤翔一さん 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官付主査  
ファシリテーター：松田妙子さん NPO法人せたがや子育てネット代表理事

（午後の部）

みんなでつくる 子ども・子育て支援事業計画

14:00~19:00 女性就業支援センター

基調講演：加藤翔一さん 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官付主査

パネルディスカッション

山口伸樹さん 笠間市長  
小澤正哉さん 茨城県保健福祉部子ども家庭課長  
川崎幹男さん 水戸市保健福祉部子ども課長  
森田多美子さん NPO法人水戸こどもの劇場代表理事  
コーディネーター：茨城大学准教授 長谷川幸介さん

グループワーク

ファシリテーター：NPO法人水戸こどもの劇場理事 横須賀聡子さん

- ・ 午前の部、当事者、子育て支援者。行政職員など 30 名、
- ・ 午後の部、子育て支援者、労組、企業、行政職員等 80 名
  
- ・ 企業・団体サポーター向け交流会の開催（自団体事業）  
 2月5日開催。4社6名が参加。  
 日本女子会館5階大会議室で開催。  
 「イクボス」をテーマにWLBを考え意見交換する交流会となった。
  
- ・ メールマガジンの発行  
 毎月1回発行
  
- ・ サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営  
 サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や  
 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを  
 逐次紹介。ツイッターと連動。
- ・ Facebookでもにっぽん子育て応援団ページを設置、フォーラム開催報告および国の動き、  
 地方版子ども・子育て会議の設置状況などを逐次アップ。
  
- ・ 「NPO市民活動団体ML」「わがまちの子ども・子育て会議ML」の運営  
 全国の地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPOなど、  
 関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。  
 「NPO市民活動団体ML」ユーザー数 225  
 「わがまちの子ども・子育て会議ML」ユーザー数 319
  
- ・ 2012年度主要自治体の子育て分野におけるNPO/市民活動団体との連携に関する調査  
 （愛のキャンパ中央助成事業 再掲）  
 3回目となる今回は106自治体から回答を得た。  
 6月1日の結成4周年フォーラムおよび7月19日のシンポジウムで資料として配布。
  
- ・ 「わがまちの子ども・子育て会議実践ガイドブック」の作成と販売（自主企画 再掲）  
 少しでも多くの自治体に子ども・子育て会議を設置してもらうべくガイドブックを作成。  
 地方版子ども・子育て会議をどのように進めていくのか――。  
 先進自治体の事例や子育て当事者のニーズを踏まえた会議運営を進めるためのアイデアを紹介。  
 国の子ども・子育て会議会長の無藤隆先生から推薦文を頂戴し、申し込み用紙などに使用した。  
 （3月31日現在、ガイドブック単独販売数692部、総販売数は849部。）
  
- ・ 応援団公式サイト・プチ・リニューアルに伴う新企画「自治体首長対談」  
 「この町に住んで良かった！市民が満足し、自治体の持続可能性が高まる少子高齢化対策、子ども・子育て支援とは？」  
 団長コーディネーターで自治体首長サポーターである成澤文京区長と、昨年度フォーラムにご登壇いただいた井崎流山市長との対談を掲載予定。対談は1月27日に終了。サイトリニューアルに合わせてアップの予定。

## 5 政策提言活動

・4月3日および11日の2日間に分けて、「ここから始まる 子ども・子育て会議元年」アピールを209名分の賛同署名とコメントを添え、自由民主党、公明党、民主党、みんなの党、日本維新の会各党国会議員の元へ届け、三党合意された「子ども・子育て支援新制度」の枠組みに基づいて、すべての子どもと子育て家庭へ行き届く支援の実現を強く求めた。

陳情団：樋口団長、安藤団長、山田企画委員、高祖運営委員、山田運営委員および事務局。

・結成4周年記念フォーラム第二部において、ご登壇いただいた各政党議員から「これからの子育て支援政策」について何うとともに、樋口団長および勝間団長から、幼稚園・保育園で子どもの育ちを支える幼稚園教諭および保育士の処遇改善、さらに子育て当事者、産み育てる人々のニーズ、気持に寄り添った施策の実現を強く訴えた。

・12月17日、「誰もが気兼ねなく外出できる社会の実現のために 公共交通機関などでのベビーカー利用に関する要望書」を、50筆の賛同署名とコメントを添え、国土交通大臣に手交。公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会での協議に、子ども・子育て家庭のみならず、外出しづらさを抱えるすべての人への配慮をと訴えた。

陳情団：安藤団長&事務局。

・2月26日、「子ども・子育て支援新制度に関する要望書」を、201筆の賛同署名とコメントを添え、自由民主党の猪口邦子・金子原二郎参議院議員、公明党の古屋範子衆議院議員・高木美智代衆議院議員に手交。子ども・子育て支援新制度に必要な予算を試算したところ1兆1000億円かかることが判明したが、財源は7000億円しか確保できておらず、差額の4000億円を確保する手立てが不明であることから、財源確保と事業のさらなる拡充、特に地域子育て支援事業、利用者支援事業の重要性と、これらへの財源的な配慮を訴えた。

陳情団：樋口団長、安藤団長、奥山企画委員&事務局。

## 6 内閣府受託業務

・子ども・子育て支援新制度への理解と周知のための行政職員・幼稚園・保育所関係者・子育て支援関係者・企業人事担当者・労働組合関係者に向けたシンポジウムの企画運営を内閣府から受託、開催した。

○子ども・子育て支援新制度シンポジウム「みんなでつくる地域の子ども・子育て支援事業計画」  
の開催（内閣府受託事業）

7月19日（金）13：30～18：00 大阪 ドーンセンター

開会挨拶：森まさこ 内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）（岩淵審議官代読）

第一部 パネルディスカッション「地方自治体における新制度への期待」

コーディネーター 前田正子さん（甲南大学教授 元横浜副市長）

パネリスト 稲村和美さん（尼崎市長）

中西 誠さん（熊取町長）

谷畑英吾さん（湖南市長）

長田浩志さん（内閣府参事官 子ども・子育て支援新制度担当）

## 第二部 分科会

分科会 1 地域子育て支援とネットワーク

分科会 2 幼児教育と保育の質の向上

分科会 3 家庭と仕事の両立

## 第三部 分科会報告

コーディネーター 前田正子さん

パネリスト 奥山千鶴子さん（分科会 1 コーディネーター）

大豆生田啓友さん（分科会 2 コーディネーター）

安藤哲也さん（分科会 3 コーディネーター）

長田浩志さん

行政担当者、NPO 関係者、幼稚園・保育園関係者、企業、労組関係者ほか 150 名が参加。

## 7 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会を毎月 1 回、事務局会議を毎週 1 回開催した。

にっぽん子育て応援団 平成25年度会計報告(案)

(H25年4月1日～H26年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,060,000	1,090,000	1,090,000	0	30,000
2. 賛同金収入	200,000	245,000	245,000	0	45,000
3. 民間助成金収入	985,025	603,500	0	603,500	-381,525
4. 販売収入	1,000,000	692,000	692,000	0	-308,000
5. 寄付金収入	350,000	230,000	230,000	0	-120,000
6. 事業受託費	987,537	987,537	0	987,537	0
7. 資料代収入	600,000	736,000	736,000	0	136,000
8. 雑収入	10,000	58,854	58,854	0	48,854
当期収入小計(A)	5,192,562	4,642,891	3,051,854	1,591,037	-549,671
前年度繰越金(B)	602,715	602,715	602,715	0	0
収入合計(A)+(B)	5,795,277	5,245,606	3,654,569	1,591,037	-549,671

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	570,000	734,739	734,739	0	-164,739
2. 人件費支出	1,800,000	1,648,830	1,648,830	0	151,170
3. 謝金	100,000	60,000	60,000	0	40,000
4. 交通費	316,800	284,990	284,990	0	31,810
5. 会議費	50,000	28,737	28,737	0	21,263
6. 通信運搬費	120,000	168,181	168,181	0	-48,181
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	200,000	121,780	121,780	0	78,220
9. 事務消耗品費	50,000	53,762	53,762	0	-3,762
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	985,025	746,460	49,118	698,192	238,565
12. 受託事業費	987,537	860,214	0	860,214	127,323
13. 支払手数料	3,000	8,278	8,278	0	-5,278
14. 雑費	10,000	15,620	15,620	0	-5,620
15. 委託費	300,000	323,530	323,530	0	-23,530
16. 予備費	50,000	35,950	35,950		14,050
17. 仮払い金	0	26,250	26,250		-26,250
当期支出小計(C)	5,542,362	5,117,321	3,559,765	1,558,406	425,041
当期収支差額(A)-(C)	(349,800)	(474,430)	(507,911)	32,631	-124,630
次期繰越収支差額(D)	252,915	128,285	94,804	32,631	-674,301

\*民間助成金については、愛のカンパ中央助成の平成25年度助成金のみを平成25年度助成金収入として計上。年度をまたいで事業実施した平成24年度分については、愛のカンパ中央助成事業の会計報告の中で報告している。

【監査報告】

上記会計報告に関して、平成26年5月14日に監査を行ったところ、帳票類もそろっており、相違のないことを承認いたします。

平成26年5月24日  
監事

監事

牧野 カツコ

森原 琴恵

にっぽん子育て応援団 平成25年度会計報告(愛のカンパ)(案)

(H25年4月1日~H26年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 助成金収入	600,000	603,500	0	603,500	3,500
当期収入小計(A)	600,000	603,500	0	603,500	3,500
前年度繰越金(B)	385,025	385,025	0	385,025	0
収入合計(A)+(B)	985,025	988,525	0	988,525	3,500

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料		5,000		5,000	-5,000
2. 人件費支出		26,400		26,400	-26,400
3. 謝金		20,000		20,000	-20,000
4. 交通費		129,360		129,360	-129,360
5. 会議費		25,335		25,335	-25,335
6. 通信運搬費		62,920		62,920	-62,920
7. 制作費		140,000		140,000	-140,000
8. 印刷製本費		149,666		149,666	-149,666
9. 事務消耗品費		26,334		26,334	-26,334
10. 備品費		0		0	0
13. 支払手数料		1,327		1,327	-1,327
14. 雑費		3,000		3,000	-3,000
15. 委託費		108,000		108,000	-108,000
16. 予備費		49,118		49,118	-49,118
当期支出小計(C)	0	746,460	0	746,460	-746,460
当期収支差額(A)-(C)	600,000	(142,960)	0	(142,960)	-742,960
次期繰越収支差額(D)	985,025	242,065	0	0	-742,960

\*愛のカンパ中央助成事業については、平成24年度事業、平成25年度事業とも、年度をまたいでの実施となっており、前年度繰越金は平成24年度事業の残金である。次期繰り越し収支額は、平成25年度事業の残金として、引き続き事業を遂行する。

【監査報告】


上記会計報告に関して、平成26年5月14日に監査を行ったところ、帳票類もそろっており、相違のないことを承認いたします。

平成26年5月24日

監事

監事

牧野 カツコ 

森原 琴恵 

にっぽん子育て応援団 平成25年度会計報告(大阪シンポ)(案)

(H25年4月1日～H26年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 助成金収入	987,537	0	0	987,537	0
当期収入小計 (A)	987,537	0	0	987,537	0
前年度繰越金(B)	0	0	0	0	0
収入合計(A)+(B)	987,537	0	0	987,537	0

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料				93,190	0
2. 人件費支出				121,050	0
3. 謝金				170,000	0
4. 交通費				253,490	0
5. 会議費				41,921	0
6. 通信運搬費				43,974	0
7. 制作費				31,500	0
8. 印刷製本費				54,226	0
9. 事務消耗品費				49,079	0
10. 備品費				0	0
13. 支払手数料				1,784	0
14. 雑費				0	0
15. 委託費				0	0
16. 予備費				0	0
当期支出小計 (C)	0	0	0	860,214	0
当期収支差額(A)-(C)	987,537	0	0	127,323	0
次期繰越収支差額 (D)	987,537	0	0	0	0

【監査報告】

上記会計報告に関して、平成26年5月14日に監査を行ったところ、帳票類もそろっており、相違のないことを承認いたします。

##### 平成26年5月24日

監事

牧野 カツコ



監事

森原 琴恵



# にっぽん子育て応援団 2014 年度事業計画書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標の設定

・2012 年 8 月、「子ども・子育て関連 3 法」が成立、公布された。早くて 2015 年 4 月にスタート本格実施する「子ども・子育て支援新制度」の実現へと力強い一歩を踏み出していくために、その理念や概要についての理解の促進と、国民的合意の形成などについて集中的に尽力していくことが求められている。2014 年度はこれまでの路線を踏襲しつつも、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標を引き続き年度活動方針の軸に活動していく。

・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 思い切った財源投入の実現に向けた大きな政治の決断を
2. 当事者の声が反映されるしくみを

## 2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

	26 年度増加目標	26 年度末目標
個人サポーター宣言	+608 人	5,000 人
企業・団体サポーター	+4 社	35 社
NPO・市民団体サポーター	+27 団体	250 団体
自治体首長サポーター登録	+19 人	50 人

・特に今年度は自治体首長に積極的に働きかけていく。

## 3 調査研究活動

・「平成 26 年度自治体予算に関する調査」(愛のキャンパ中央助成)

平成 26 年 4 月 1 日から消費税が 8%に引き上げられ、増税分から 3000 億円が子ども・子育て支援にかかわる「待機児童対策加速プランおよび緊急保育対策事業等」について計上されたことを受け、106 の自治体を対象に平成 26 年度予算の実情に関する調査を実施し、結成 5 周年記念フォーラムで報告する。

## 4 情報提供・交流活動

・勉強会等の開催(愛のキャンパ中央助成事業、こども未来財団大規模研修会助成事業、企業・団体サポーター向け講座ほか)

地方 1 か所、首都圏 4 か所の計 5 か所で開催する。

首都圏での 4 回のうち 1 回は連続講座、さらに 1 回は企業・団体サポーター向け講座とする。

結成 5 周年記念フォーラム(愛のキャンパ中央助成事業)

5 月 24 日(土) 13:30~17:00 大妻女子大学千代田キャンパスA棟 150 教室

企業・団体サポーター交流会(自団体事業)

7 月 14 日(月) 17:00~19:00 第一生命保険日比谷本館会議室

・メールマガジンの発行

毎月1回発行

・サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

・「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

・調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

## 5 政策提言活動

・年に2回(5月・11月または1月)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。(愛のキャンパ中央助成事業ほか)

## 6 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会を毎月1回、事務局会議を毎週1回開催する。

# にっぽん子育て応援団の運営体制について

## 1. 団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

## 2 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

岩田喜美枝：財団法人21世紀職業財団会長

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

北浦正行：日本生産性本部参事

清原慶子：三鷹市長

倉田 薫：前池田市長

古賀伸明：日本労働組合総連合会会長

嶋野道弘：文教大学大学院教育研究科教授

林文子：横浜市長

◎樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長

◎堀田力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士

棕野美智子：大分大学教授

柳澤正義：日本子ども家庭総合研究所名誉所長・小児科医

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

吉田恒雄：NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

◎は応援団長（共同代表）

## 3. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

\* 森原 琴恵(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖 常子(NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬 正史(NPO法人さわやか青少年センター理事長)

\* 牧野カツコ(NPO法人高齢社会をよくする女性の会)

高橋 伸夫(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

山田 麗子(「遊育」編集長)

\*は監事

## 4. 事務局体制について

當間 紀子 主に企画・広報と渉外を担当

青木八重子 主に助成事業の会計業務を担当

曳野 明子 主に会計業務を担当

武田 寛美 主にイベント保育室 および発送業務などを担当

小原 聖子 主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当

松田 妙子 主に勉強会ファシリテーター、イベントの構成を担当

## 5. 運営体制について

- 「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。
- 役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等)について審議する。
- 団長会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。
- 運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。
  - \* 運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。
  - \* 応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。
- 年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。

にっぽん子育て応援団 平成26年度収支予算 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【収入の部】

単位 (円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳	
1. 会費収入	1,110,000	170,000		(団長&企画委員) @10,000円×17人	170,000
		200,000		(自治体首長新規&継続) @10000円×20人	200,000
		200,000		(企業・団体新規) @50,000円×4社	200,000
		400,000		(企業・団体継続) @50,000円×8社	400,000
		140,000		(企業・団体継続) @20,000円×7社	140,000
2. 賛同金収入	200,000	200,000	0	(個人) @1,000円×200人	200,000
3. 民間助成金収入	1,700,000	0	1,700,000	(こども未来財団1000,000円+愛のキャンパ700,000円)	1,700,000
4. 販売収入	50,000	50,000	0		
5. 寄付金収入	200,000	200,000	0		
6. 事業受託費	0	0	0		
7. 資料代収入	600,000	600,000	0	春・秋フォーラム	
7. 雑収入	10,000	10,000	0		
当期収入小計 (A)	3,870,000	2,170,000	1,700,000		
内閣府受託業務	127,323		127,323		
前年度繰越金 (B)	370,350	128,285	242,065	(内、2009年度借入金1,500,000円を含む)	
収入合計 (A)+(B)	4,367,673	2,298,285	2,069,388		

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳	
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃 (@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+会議室使用料ほか	
2. 人件費支出	1,200,000	1,200,000	0	事務局・アルバイト人件費 @100,000円×12ヶ月	
3. 謝金	20,000	20,000	0	講師謝金	
4. 交通費	192,000	192,000	0	事務局交通費 @800円×20日×12ヶ月	
5. 会議費	30,000	30,000	0	茶菓・弁当代	
6. 通信運搬費	120,000	120,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費	
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費	
8. 印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リソグラフ・印刷費 (パンフレット・封筒)	
9. 事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等	
10. 備品費	0	0	0		
11. 助成事業費	1,942,065	0	1,942,065	こども未来財団事業+愛のキャンパ (特別会計にて処理)	
12. 受託事業費	0		0		
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料	
14. 雑費	10,000	10,000	0		
15. 業務委託費	300,000	300,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料	
16. 予備費	20,000	20,000	0		
当期支出小計 (C)	4,289,065	2,327,000	1,942,065		
収支差額 (A)-(C)	78,608	(157,000)	0		
次期繰越収支差額 (D)	448,958	(28,715)	0		